

広報



特集

輝くふるさと		P2~3
おめでとうございます		P4 ~ 5
秋のまつりがにぎやかに開催		P6
地域おこし協力隊がゆく		P11
まちの話題		P16 ~ 19
ひたちおおたてくてくウォーク		P20
はじめての誕生日／園児たちのギャラリー	...	P22

【聴く人の心を打つ二孝女物語の講談】

平成 25 年 (2013)

12

月号

No.625

「行灯の赤レンガと銀杏まつり」の風景。中央やや右が旧町屋変電所。無数の行灯とともに今年の一文字「希」が浮かび上がる



特集

輝くふるさと

「ふるさとを守る」、「地域資源を活用する」市内には、自らが暮らす地域を盛り上げようと、地道な取り組みを続ける人たちがいます。そうしたふるさとを守る活動に尽力している皆さんをご紹介します。

根本愛子さん（西河内下町）の手づくりひょうたんランプが人気



谷河原高砂会の皆さんの努力が大きな花を咲かせている



見事な谷河原高砂会の花壇。見る人を魅了し、心に安らぎを与える

11月9日・10日、臼杵市二孝女訪問団の皆さんが来市。青蓮寺や山田小を訪れ交流を深めた



行灯の赤レンガと銀杏まつり

手づくりのまつり 大きく羽ばたく

河内地区の晩秋を彩る風物詩「行灯の赤レンガと銀杏まつり」。このイベントを主催するのが、河内地区の住民有志で組織されている河内の文化遺産を守る会（檜山貞人会長）です。同会は今年の11月、国土交通省の「地域づくり表彰」において、「全国地域づくり推進協議会会長賞」を受賞しました。「地域づくり表彰」は、創意と工夫を生かした個性的な地域づくりに顕著な功績があった優良事例を表彰するものです。

「地域の人の想いがあふれているおまつりで温かさを感じる」という声が聞かれます」と話す檜山会長。「あるもの利用で何でも手づくり」をモットーに、旧町屋菱電所を拠点として周辺の田んぼを手づくりの行灯でライトアップし、コンサートや地域の工芸品の展示を行う「行灯の赤レンガと銀杏まつり」。また、手打ちそばや草木染手ぬぐいなど地場産品を活用した手作りの品を販売し、その利益を活動資金に充てているほか、地域資源の保存活用を原点に地域整備も手がけています。

檜山会長は「今回の受賞でみんなの努力が報われたと思います。今後の活動の励みにして、より良い地域づくりに向けて頑張りたい」と力強く話してくれました。



大久保市長（中央）に受賞を報告する「河内の文化遺産を守る会」の皆さん。右から2人目が檜山貞人会長



11月10日に旧河内小で開催した地域おこし講演会。講師は、ローマ法王に米を献上したこと有名な羽咋市役所の高野誠鮮さん

豊後国二孝女物語

史実を伝え、今に生かす

平成23年5月に設立された二孝女顕彰会（櫻井正美会長）。これまで臼杵市の「きつちよむ史談会」との交流やパンフレットの作成など、二孝女物語を広く皆さんに知ってもらうための活動をしています。

「この話がいつまでも語り継がれるようにしていきたいですが、単なる親孝行の物語で終わらせたくはないんです」と語る櫻井会長。「確かに二人の娘さんの人間性はとても素晴らしい。そうでなければ江戸時代に若い娘だけで旅をして、いろいろな人から援助を受けることはできなかったでしょう。実はこの二人は幼いときに



櫻井正美さん

母を亡くし、父親に育てられていたんですね。父親は深い慈愛の心で一生懸命娘たちを育てたといっています。この父の教えを姉妹は忘れていなかった。いかに家庭というものが、そして教育が大事かということが言えるのではないのでしょうか」と話してくれました。



二孝女物語をわかりやすく紹介している

今年、物語を紹介する紙芝居を収めたDVD（語り）は金砂郷おむすびの会）を作成し、同会が行う出前講座などで使用。市内外から依頼を受け大変好評のことです。

出前講座をご希望の方は、同会事務局長の関根敬純さん（☎85・0665）まで。

二孝女物語とは

「豊後国二孝女物語」は、江戸時代後期の文化8年（1811）、豊後国臼杵（現大分県臼杵市）の若い姉妹「つゆ」と「とき」の物語。姉妹の父は、旅の途中に病気になる、青蓮寺（本市東連地町）で看病を受けていました。それを知った姉妹は、約300里（約1,200km）



離れた常陸国へ苦難の旅に出発。約2カ月後、幾多の危機を乗り越えた姉妹は、7年ぶりに父との再会を果たします。親孝行に心打たれた地元住民は、物心両面で父と娘を支援しました。

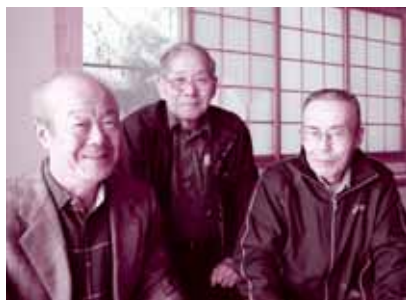
花と緑の環境美化コンクールで県知事賞

“協力”の花が咲く

今年度の「県花と緑の環境美化コンクール」で、第1位となる県知事賞を受賞した谷河原高砂会（篠原勝幸会長）。

その見事な花壇は面積約400㎡。花壇の中に散歩道を作るとともに、散水設備も備えています。また柵や柵、ベンチなどはすべて手づくり。花壇の形状や花の配色も工夫し、地域の憩いの場となっています。「5月に種をまき、自宅のビニールハウスで苗を管理。散水や温度調整に注意しました」（篠原恒男さん）「花の成長を見るのがとても楽しい」（内藤彰夫さん）「会員の協力が素晴らしい。作業を通じて会話も弾みますね」（林隆一さん）と話す会員の皆さん。種から大事に育てた花への思いが言葉にあふれています。

さらに谷河原町では、国道349号線の清掃活動やプランター設置で国土交通大臣表彰、その他「花しょうぶ園」を開園するなど、美しい環境を目指した先進的な取り組みが進んでいます。



花壇について語る林隆一さん、内藤彰夫さん、篠原恒男さん（左から）

叙勲

おめでとうございます

永年にわたり、国家または公共に対し功労のある方、社会の各分野における優れた行いのある方などに贈られる「秋の叙勲」、警察官や自衛官など、危険性の高い職務で社会に貢献した方に贈られる「危険業務従事者叙勲」、また 88 歳以上の方を対象とした「高齢者叙勲」がこのほど発表され、本市からは次の方々が受章されました。



瑞宝双光章
危険業務従事者叙勲

小林正典 氏 (和田町)
元日立市消防監。永年にわたり消防活動に尽力された。



瑞宝双光章
危険業務従事者叙勲

大高和雄 氏 (町田町)
元茨城県警部。永年にわたり公共の秩序の維持に尽力された。



瑞宝小綬章
秋の叙勲

大森正志 氏 (田渡町)
元県立水戸商業高校長。永年にわたり教育の発展に尽力された。



旭日小綬章
秋の叙勲

天木 元 氏 (上河合町)
元常陸太田市議会議長。永年にわたり地方自治の推進に尽力された。



瑞宝単光章
秋の叙勲

小林千代子 氏 (瑞龍町)
元誉田養徳園児童指導員。永年にわたり児童福祉の向上に尽力された。



旭日単光章
高齢者叙勲

和田 宏 氏 (中染町)
元水府村議会議長。永年にわたり地方自治の推進に尽力された。



瑞宝双光章
高齢者叙勲

檜山富三 氏 (金井町)
元常陸太田市助役。永年にわたり地方自治の推進に尽力された。



瑞宝双光章
危険業務従事者叙勲

篠原麻男 氏 (谷河原町)
元常陸太田市消防司令長。永年にわたり消防活動に尽力された。



県大会を制した選手たち (写真左から) 片根洋平さん、鈴木流世さん、佐藤圭さん、福島正訓さん、武藤広大さん、川崎瑠唯さん (全員 2 年生)

瑞竜中が駅伝で 県大会優勝

11月14日に行われた、男子第49回県中学校駅伝競走大会で、瑞竜中が見事に優勝の栄冠を手にしました。12月15日に山口県で開催される全国大会へ出場します。
“頑張れ瑞中!”

井坂 忠 氏 (徳田町)

瑞宝単光章
危険業務従事者叙勲

元准空尉。国の安全を保ち、公共の秩序の維持に尽力された。



瑞宝単光章
秋の叙勲

鈴木敏雄 氏 (木崎二町)
元常陸太田市消防団副団長。永年にわたり消防団活動に従事された。



関 守 さん

全国自治会連合 会から表彰

地域の住民自治組織の発展に努め、住民福祉の向上と豊かで明るい社会づくりの推進に大きく貢献されたとして、花房町会長の関守さんが全国自治会連合会会長表彰を受賞しました。関さんは、平成13年4月から平成14年3月まで花房区副区長、平成20年4月から現在に至るまで花房町の町会長を務めています。また平成23年6月から平成25年6月まで、県自治会連合会の副会長として尽力されました。

相馬民謡全国大会優勝

10月12日・13日に、福島県の相馬市民会館で行われた第31回相馬民謡全国大会において、「新相馬節」で出場した本市の石川徳さん（天神林町）が優勝しました。



石川 徳さん

「民謡にはその土地の独特の節回しがあり、地域の方との交流を経て理解しないと入賞は難しいです。優勝できて念願がかない本当にうれしいです」

「薬と健康の週間」ポスターコンクールで優秀賞

平成25年度「薬と健康の週間」ポスターコンクールにおいて、榊朱里さん（太田中2年）の作品が優秀賞（県学校薬剤師会長賞）を受賞しました。



榊 朱里さん

「薬剤師さんが薬の説明をしている絵を1週間かけて描きました。薬を飲むときは説明書きなどに注意して飲んでほしいと思います」

歯と口の健康に関するポスターコンクールで知事賞

平成25年度歯と口の健康に関するポスターコンクール中学校の部において、天下井裕香さん（水府中1年）の作品が知事賞を受賞しました。



天下井裕香さん



「鏡の前で丁寧に歯を磨いているところを描きました。みんなが80歳になっても健康で虫歯がないように、毎日歯を磨く習慣をつけてほしいです」

青少年健全育成で表彰

10月30日に行われた第43回県青少年相談員研修大会において、次の3人の方々が、長きにわたる青少年相談員としての功績に対し表彰を受けました。



知事ほう賞

朝日 光臣さん
（大中町）

「17年余り青少年相談員を務めました。子どもには、小さいうちに良いことと悪いことをしっかり教えることが大切です」



功労者表彰

片根 一吉さん
（稲木町）

「青少年相談員は地域の方とのコミュニケーションが大切。皆が手をつないで早期に対応することが重要だと思います」



功労者表彰

矢部 幸雄さん
（高柿町）

「子どもに対する親の関わり方が育ちに影響します。手間ひまかけて接してほしいですね」

県交通安全ポスター作品コンクールで優秀賞

平成25年度県交通安全ポスター作品コンクールにおいて、邊見紗枝さん（瑞竜中2年）の作品が優秀賞（県議会議長賞）を受賞しました。



邊見 紗枝さん



「ポスターなので表情を明るくしようと気を付けました。水彩画系の色使いが好きなのですが、ポスターは色をはっきりさせなければならぬので難しかったです」

地域安全への取り組みで表彰

10月10日に行われた、第35回地域安全茨城県民大会（県・県警察本部・公財）県防犯協会主催）において、地域安全功労者として會澤一夫さん（大方町）が、地域安全ボランティア団体として西小沢地域子ども安全ボランティア（富岡勝紀代表）が、それぞれ県警察本部、県防犯協会理事長連名表彰を受けました。



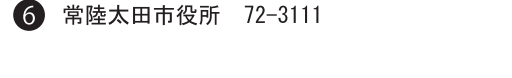
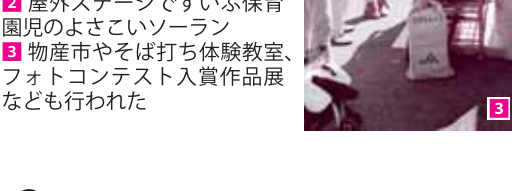
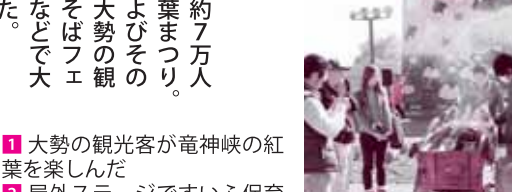
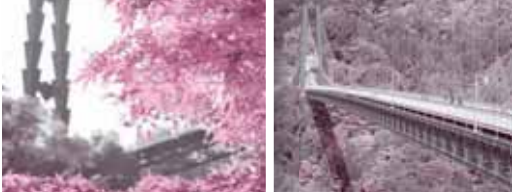
會澤 一夫さん



西小沢地域子ども安全ボランティア代表
富岡 勝紀さん

秋のまつりがにぎやかに開催

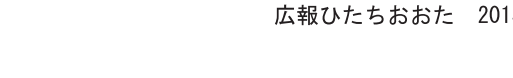
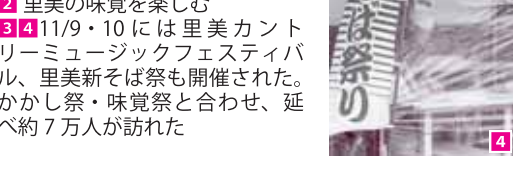
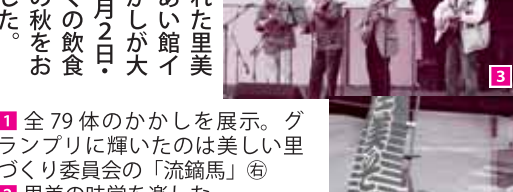
常陸太田秋まつり



11月16日・17日に開催し、約2万8千人でにぎわった常陸太田秋まつり。晴天にも恵まれ、数多くの店が出店し、久自楽舞祭やスタンブラリーなどさまざまなイベントが行われました。

- 1 白杵市などの物産も人気
- 2 宮ノ脇保育園児の発表
- 3 おにぎりコンテストでは、福地祐美さん（前列左から3人目）の「キンピラ風おにぎり」がグランプリ
- 4 牛久市の皆さんが梨木平をハイキング

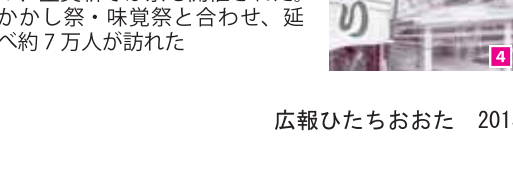
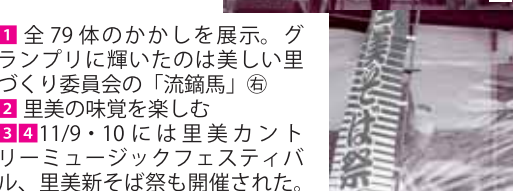
常陸秋そばフェスティバル



11月9日・10日に開催、約3万5千人の出でにぎわった常陸秋そばフェスティバル。会場となった交流センターふじには全国から15店のそば店が集結。県内外から訪れた多くのお客様が新そばを堪能しました。

- 1 お食事処は満席
- 2 有名店の味を求めて長蛇の列
- 3 そば打ち体験教室
- 4 同時開催の「芸術文化の祭典」芸能発表
- 5 西金砂神社田楽舞
- 6 北中生がボランティアで活躍

里美かかし祭・秋の味覚祭



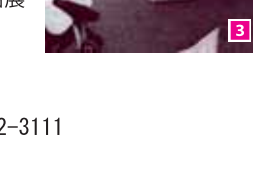
10月26日・11月23日に行われた里美かかし祭。今年も里美ふれあい館イベント広場にユニークなかかしが大集合。さとみ秋の味覚祭（11月2日・3日）では、千人鍋など多くの飲食コーナーで、お客様は里美の秋をおなかいっぱい楽しんでいました。

- 1 全79体のかかしを展示。グランプリに輝いたのは美しい里づくり委員会の「流鎗馬」㊦
- 2 里美の味覚を楽しむ
- 3 4 11/9・10には里美カントリーミュージックフェスティバル、里美新そば祭も開催された。かかし祭・味覚祭と合わせ、延べ約7万人が訪れた

竜神峡紅葉まつり



11月1日～30日に開催し、約7万人の観光客が訪れた竜神峡紅葉まつり。会場となった竜神大吊橋およびその周辺は、連日県内外からの大勢の観光客でにぎわいました。新そばフェアや物産市、各種イベントなど大いに盛り上がりを見せました。



- 1 大勢の観光客が竜神峡の紅葉を楽しんだ
- 2 屋外ステージですいふ保育園児のよさこいソーラン
- 3 物産市やそば打ち体験教室、フォトコンテスト入賞作品展なども行われた



「5 kmの部」は折り返しのスピードレース



高低差約 300 メートルの「14 kmの部」スタート

毎年恒例の西金砂登山マラソンが、11月17日、金砂地区で行われました。
出場者は全国からのリピーターも多く、14 kmの部・5 kmの部合わせて過去最高の1046人がエントリー。遠来賞・高齢者賞など各種特別賞のほか、参加者全員へコシヒカリをプレゼント。さらに、金砂の湯への入浴サービス、常陸秋そばの食事サービスなどのおもてなしで、秋晴れの金砂路を駆け抜けたランナーたちの疲れを癒しました。

西金砂登山マラソン

都々逸全国大会

11月16日、生涯学習センターにおいて第27回都々逸全国大会が行われました。

唄の部は72人が参加、本市の阿部秀太郎さん（91歳・東二町）が優勝しました。

作詞の部では1229

人からの応募があり、次の方々がどいつ大賞を受賞しました。加藤弥生子さん（石岡市）の宿題句「広い刈田に白鷺

金砂出張所の消防車を更新

市北消防署金砂出張所の消防ポンプ自動車を更新しました。車両は、車内の収納スペースを最大限に活用するためのハイルーフ、資機材等の落下防止や雨水の浸入・防塵に配慮したシャッター、機動性・安全性を重視し



消防ポンプ自動車

た4WDなど、多くの特徴を持っています。



唄の部で優勝した阿部秀太郎さん㊟

舞ふて秋が絵になる謡になる」。吉住義之助さん（東京都台東区）の自由句「忙しない日の嬉しい箸が茶漬けかつ込む割烹着」。

お米 de スイーツ 9

常陸太田市産の米粉を使ったスイーツコンテストで入選した作品のレシピをご紹介します。
園生産拡大・商品開発推進室（☎ 33-8753）

カルテット



発案者の一言
島根純子 さん（大里町）

米粉はふるいにかけてなくても大丈夫なので扱いやすい粉ですが、水分量の調整が難しかったです。レシピは改良を加えてご家庭でも作りやすく工夫しましたので、ぜひ挑戦してみてください。

材料（クグロフ型 1 台分）

米粉 ……100g
発酵バター（無塩）
…150g
全卵（M） ……3 個

粉糖 ……150g
のむヨーグルト 15g
製菓用ココア ……7g
熱湯 ……大さじ 1

作り方

- ① 全卵と粉糖を湯せんにつけ、人肌になったらおろし、もったりとするまで泡立てる。
- ② ①にのむヨーグルトを加えて混ぜる。
- ③ 米粉を加えて混ぜる。
- ④ 溶かしておいたバターを加えて混ぜたらプレーン生地の出来上がり。
- ⑤ ④の生地を 50g とりわけ、熱湯で溶いておいたココアを合わせてココア生地を作る。
- ⑥ バターを塗っておいた型にプレーンとココアの生地を交互に流し、フォークなどで軽く混ぜてマーブル状にする。
- ⑦ 170℃に予熱しておいたオーブンで 30～35 分焼く。

「カルテット」は、ガトーデイズ（大里町）で販売されています（予約販売のみ。☎ 76-1933）。

朝イチnavi

トモチちゃんファーム(島町)

宇野友子さん

畑の恵みをおすそわけ

かんぴょ



う、しょうが、芋がら、干し芋等いろいろな季節の作物を何十年も作っています。他にも仕事をしているので忙しい時もありますが、手間を惜しまずすべて無農薬でコヌカや有機肥料を使い、自然に近い形で作っています。自分の作りたいものを作つて、月に一度のこの朝市にできた野菜を出品する。それもできるだけ安く、お・す・そ・わ・けです。今後も楽しく参加し朝市に協力していくつもりです。皆さんも出店してみませんか？ 2時間楽しいですよ。



エビイモ

新鮮な農産物等で毎回好評の常陸太田朝市。魅力ある商品を発信する出店者の方々を紹介していきます。
園農政課 (☎ 33・8752)

小池住建(上高倉町)

本格的木工品を皆さんに



机・いすから小物入れまでいろいろ



朝市といえど新鮮野菜を思い浮かべる方も多いと思いますが、木の温もりを大切にした木工品などを販売しています。本業で余った材木などを利用してあるのでエコでリーズナブル、そんな中でも、細かい手作業で美しい仕上がりになるよう心掛けています。触っていただけるとわかると思いますが、なるべく市民の皆さんに還元するつもりで作っていますので、一度手にとってみませんか？

ひたちおおたの

made in
Hitachiota

逸品 9

市内には優れた農林水産物や加工品などが数多くあります。その中から市の**特産品認証制度**で認証された特産品を紹介していきます。

園市特産品推進協議会事務局(生産拡大・商品開発推進室内 ☎ 33-8753)

日乃出鶴 純米吟醸

合資会社 井坂酒造店



希望小売価格
(税込)
300ml 520 円
720ml 1,250 円
1.8L 3,000 円

米を丁寧に磨き、淡麗辛口に仕上がったまろやかで飲み口が最高のお酒です。香りがよく、口に含むとコクがあるのに後味がすっきりします。ぬる燗・常温のほか、冷やしてもお楽しみいただけます。

☆アルコール度：15.2度

☆精米歩合：58%

第1回常陸太田お菓子・スイーツ
コンテスト最優秀賞受賞



希望小売価格
(税込)
1個 150 円

おおたっ穂(ぽ)

菓子工房 木村屋菓子舗

常陸太田の田園風景をコンセプトに、地元産コシヒカリ米粉を使ったお菓子です。田んぼを大納言小豆入り羊羹、稲穂は蒸しカステラでイメージしました。カステラ生地はシっとりもちもち、ほのかな醤油風味とゴマの香りがします。羊羹は蒸しカステラに合わせて柔らかく甘さ控えめに仕上げました。

常陸秋そば粉

麵匠ひたちや(株)



希望小売価格
(税込)
1袋(500g)
600 円

金砂郷地区の生産農家で契約栽培された常陸秋そばを丹念に製粉しました。限定生産された極上の常陸秋そばを使用しているため、香り・甘味が抜群です。

市特産品認証の「常陸秋そば粉」は、市内産常陸秋そば100%であることが認証基準になっています。

常陸太田市特産品認証マーク



肝臓病

「アルコールの飲みすぎに注意」

12月、1月はお酒を飲む機会が増え、肝臓を酷使しがちな時期です。肝臓はアルコールの分解だけでなく、栄養素の代謝や貯蔵など数多くの重要な役割を果たす臓器です。また、「沈黙の臓器」といわれ、初期症状が現れにくいいため、定期的な検査と、病気にならないようなお酒の飲み方が重要となります。

アルコール性肝障害の進み方は？

多量のアルコールを飲むと、アルコールを分解する肝臓に大きな負担をかけ、アルコール性肝障害（アルコール性脂肪肝、アルコール性肝炎、アルコール性肝硬変）の原因となります。

アルコールの過剰摂取

「アルコール性脂肪肝」

肝臓に中性脂肪がたまり、機能が低下する。

「アルコール性肝炎」

脂肪肝の状態で大量の飲酒をした場合に腹痛、発熱、黄疸（尿の色が濃い、眼の白い部分が黄色くなる）等の症状が出る。死亡する場合もある。

「アルコール性肝硬変」

肝細胞が壊され、硬くなるだけでなく、正常に働くことのできる細胞の数が減り、本来の働きができなくなる。症状として、黄疸（尿の色が濃い、眼の白い部分が黄色くなる）、むくみ、腹水等がある。

肝不全・肝がん

肝臓の機能を知る 検査値

お酒を飲む習慣がある方は定期的に血液検査を受けましょう。

検査項目	基準値 (IU/L)
AST (GOT)	30 以下
ALT (GPT)	30 以下
γ-GTP	50 以下

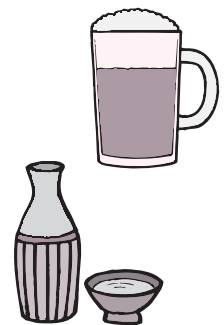
○AST、ALTとは？

この値が高く出た場合は肝炎が疑われます。

○γ-GTPとは？

アルコールなどで肝臓に障害を起こすと、γ-GTPが血液中に増えてくるため、アルコール性肝障害を発見する手がかりとなっています。

？
肝臓を大切に生活とは？



「休肝日を決める」

週に2日はアルコールを飲まない休肝日にしましょう。

「飲酒は適量を守る」

☆1日の適量の目安

- ・日本酒 1合（180 ml）
- ・焼酎 ぐい呑み2杯弱（75 ml）
- ・ビール 中瓶1本（500 ml）
- ・ワイン グラス2杯弱（200 ml）
- ・ウイスキー ダブル1杯（60 ml）

「肥満の予防・改善」

肥満になると肝臓に脂肪がたまり、肝臓の障害が進みやすくなります。おつまみなどの食べ過ぎに注意し、適度な運動を行いましょう。

肝臓病にはご注意を

お酒の飲みすぎ...



肝臓に負担をかけすぎると





上河合町

歩く会&地元学発表会

11月3日、エコミュージアム活動に取り組んでいる上河合町において、地元町会や茨城キリスト教大学の学生、太田一高 JRC 部のボランティア学生など約 140 人が参加し「歩く会&地元学発表会」が行われました。地元学発表会では、みんなで話し合った「将来構想」や「お宝」について発表があり、また、歩く会では、河合神社で磯出大祭礼の際に奉納された「巫女舞」の鑑賞をしたり、枕石寺や防人の碑など町内の名所を回りました。参加者は「めったに見られない巫女舞を見ることができよかったです」「地元の歴史や文化に触れることができ勉強になりました」と話していました。



【写真⑤】
地元町会やボランティア学生など約 140 人が参加
【写真⑥】
地元学の発表



歩く会さあ出発



クイズラリーに挑戦



河合神社で巫女舞を鑑賞



私たちも参加したよ



地域を散策後に、子どもたちを集めビンゴ大会

薬谷町

未来構想ワークショップ

11月24日に薬谷町において「未来構想ワークショップ」が行われました。当日は、地元町会などから 43 人が参加し、薬谷町の未来構想についてグループで話し合いを行い、「ウォーキングマップを制作したら」とか「子どもが集まれるように駄菓子屋を作りたい」などの提案もありました。薬谷町では、今後とも住民参加型のまちづくりを行っていく予定です。



わいわいガヤガヤと楽しい話し合い



みんなでまとめた表に僕たちが飾り付けをしたよ

ちよつと寄り道

今月は西三町

山田神社



鯨ヶ丘ふれあい広場



鯨ヶ丘地区には多くの神社があります。旧暦の6月1日から7月2日までの約1カ月間、西三町の「山田神社」をかわきりに、21カ所の神社で御田植祭が行われ、この祭を「太田の夜祭」または「太田のだらだらまつり」と呼んでいます。山田神社から坂を上ると、近くに「鯨ヶ丘ふれあい広場」があります。ここは昭和40年代まで旧太田警察署、その後は旧太田消防署があった場所です。平成20年に市民や地域住民に親しまれる場所にしたいということから広場が作られ、子どもからお年寄りの憩いの場になっています。広場には、芝生が張られた親子クジラが仲良く泳いでいますので立ち寄ってみてください。

来月は、西三町の「西」つながりで、西染町さんをお願いします。



紹介者
西三町
菊池保裕さん

毎月第2日曜日に開催している『里美の日』。自分たちが地域でできることを地道に継続することによって少しずつではありますが、地域内外に浸透し始め 11 月 10 日（日）で 2 周年を迎えました！そんな記念すべき日に古民家荒蒔邸で「秋の郷コンサート」を開催しました。



出演してくださった方は、なんと荒蒔邸所有者のお孫さん姉妹なのです。私たちがカフェなどに使用していることを知って連絡くださり今回のコンサートが実現しました！不思議なもので荒蒔邸は素敵なつながりが生まれる場所になっています。

ピアノや歌をはじめ、彼女たちの幼い頃の思い出なども聞くことができ、改めて人と人、過去と現在のつながりなど、普段の活動で大切にしている「結ぶ・つなぐ」というものが見えたような気がしました。これからも里美に縁のある人や縁ができた人など、コアなファンを丁寧に増やしていきたいと思っています。



仲間たちからのお知らせ

12/14（土）域学連携の学生とファーマーズマーケット水戸に参加予定です【里美】

12/22（日）赤土町で親子体験交流会をサポート。申し込みは市文化課（内線 541）まで【金砂郷】

地域おこし協力隊がゆく

白石
(金砂郷)笹川
(里美)石川
(里美)長島
(里美)渡部
(水府)

金砂郷

想いの記録とおもてなし

改めて 10 月から水府担当の協力隊に就きました渡部です。この 10～11 月は市や県への挨拶回り、各種市民団体や先輩協力隊員のイベントに参加させていただき、多くの人と出会い話し、今後何をすべきかを模索しています。また前職でのスキルで「写真」と「デザイン」が多少できることから、いくつかチラシや名刺を作らせていただいています。

その1つとして、赤岩集落の中島さんを中心とした方々の訪問者へのおもてなしの対応に感銘を受け、「その記録と情報発信」、同時に僕も観光で来られた方を「もてなしたい」と思い、展望台周辺を紹介するチラシを作成しました。



僕の考える一番のおもてなしとは、コミュニケーションだと思っています。これは常陸太田に来て実感しました。

素晴らしい景色や食事もいいですが、「写真お撮りしましょうか？」「このお店の〇〇がおすすめです」という声かけのもてなしが旅の中にあるだけで、常陸太田への印象はかけ算的によく、口コミやリピーターが出てくると考えています。今後「人々の想いを記録・情報発信」と「交流人口拡大」を柱に活動していきます。

野崎
(金砂郷)

今年のイベント出店で 一工夫

秋はイベントシーズン。10 月 27 日の水戸フェスティバル、11 月 2 日・3 日は母校の清泉女子大学の清泉祭、11 月 9 日・10 日は常陸秋そばフェスティバルに参加しました。

茨城や常陸太田や金砂郷に関する産品を、水府の宮田隊員によるオリジナルパッケージで販売。昨年よりインパクトのある PR ができました。また白石隊員の提案



で、販売だけでなく「茨城・常陸太田・金砂郷」について考えてもらう機会として、各種イベントでワークショップを実施。水戸フェスでは「茨城の好きなお店＆茨城の未来に望むこと」、東京の文化祭では「茨城の知っているところ＆茨城の好きなお店」、そばフェスでは「茨城の好きなお店＆常陸秋そばの好きなお店」を書いてもらいました。参加した方には「つけけんちんソバ」の冊子に出てくるソバオの缶バッチをプレゼントしました。



これらの展示は 12 月 8 日にかなさ笑楽校で行う「金砂山のけんちん村まつり」にて展示しました。広報ひたちおた 2013 年 12 月号 11 常陸太田市役所 72-3111



市の財政は健全です

平成24年度決算でみた市の財政診断

問財政課（内線 318・319）

将来に向けてさらに健全化を推進

市町村の財政の健全化判断比率は、次の4つの指標で判断します。

1 実質赤字比率（一般会計の赤字の程度を示す指標）

2 連結実質赤字比率（すべての会計の赤字額の程度を示す指標）

3 実質公債費比率（借入金返済額による財政負担の程度を示す指標）

4 将来負担比率（借入金返済額による将来の財政負担の程度を示す指標）

水道事業や下水道事業などの経営状況は、次の指標で判断します。

5 資金不足比率（公営企業等の料金収入の規模に対する資金不足の程度を示す指標）

本市はすべての会計に赤字や資金不足は生じていません

1 実質赤字比率

本市は実質収支が黒字のため、**実質赤字比率は生じていません。**

この比率が本市において12・67%以上となった場合には、いわゆるイエローカードとなる財政健全化計画を、20%以上となった場合にはレッドカードとなる財政再生計画を策定することとなります。

2 連結実質赤字比率

本市は、すべての会計において赤字額または資金不足額がないため、**連結実質赤字比率は生じていません。**

この比率が本市において17・67%以上となった場合には財政健全化計画を、30%以上となった場合には財政再生計画を策定することとなります。

借金返済の負担割合は減少

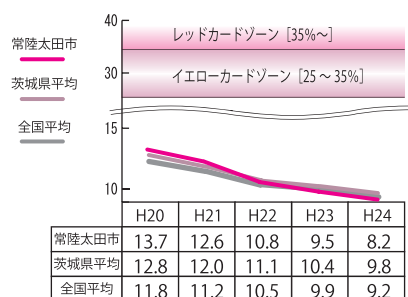
3 実質公債費比率

数値が大きいほど借金返済の資金繰りが厳しいことを表します。

平成24年度は、借入金（地方債）の借入抑制により、返済金が減少したことから、前年度よりさらに1・3ポイント減少し、**県や全国平均を下回っています。**

この比率が25%以上となった場合には財政健全化計画を、35%以上となった場合には財政再生計画を策定することとなります。

■借金の負担割合を示す実質公債費比率



借金返済による今後の財政負担も減少

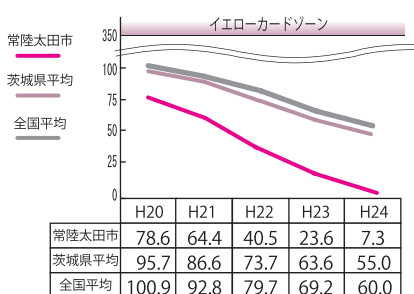
4 将来負担比率

この数値が大きいほど、借入金返済が今後の財政を圧迫する可能性が高いことを表します。

平成24年度は、借入金（地方債）残高が減少したことや、職員数の減少により退職手当負担見込額が減少したこと、基金残高が増額となったことから、前年度よりさらに16・3ポイント減少し、**県や全国平均を大きく下回っています。**

この比率が350%以上となった場合には財政健全化計画を策定することとなります。

■借金返済にどれくらいの負担があるかを示す将来負担比率



公営企業等にも
資金不足はありません

5 資金不足比率

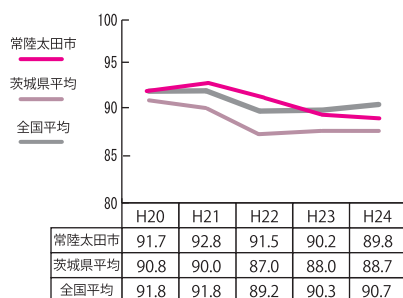
本市はすべての会計で資金不足がないため、資金不足比率は生じていません。

この比率が20%以上となった場合には経営安定化計画を策定することとなります。

「ゆとり度」は若干回復

財政の弾力性（ゆとり）を示す指標が「**経常収支比率**」です。税収など比較的安定している収入に対する、人件費や借金返済など毎年必要となる経費の割合を表しています。この数値が低いほど、独自の施策に充てる財源が大きい

■財政のゆとりを示す経常収支比率

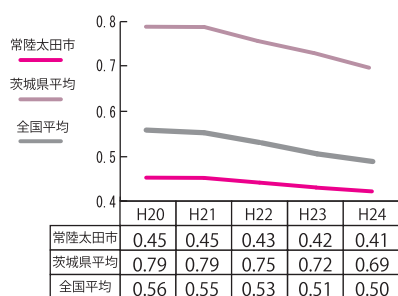


く、財政構造が弾力的であるといえます。平成24年度は、前年度よりさらに0.4ポイント減少し、**全国平均**を下回りましたが、**県平均**を上回っています。

財政力は**全国・県平均**を下回る

自治体の財政力を表す指標としては、「**財政力指数**」があります。この指数が「1」に近いほど自力があり、指数が低いほど国への依存度が高いといえます。平成24年度は前年度より0.01ポイント下回り、0.41ポイントで、依然として**全国や県平均を大きく下回っています**。このため、工業団地の企業誘致を進めて

■財政力を示す財政力指数



収入を確保するなど、財政力の向上に努めます。

借金は減少、貯金は増加

借金残高は約12億円の減少

市の借金ともいえる市債。平成24年度は引き続き、返済とのバランスを考慮して新たな借入れを抑制したため、残高は約12億円の減少となりました。

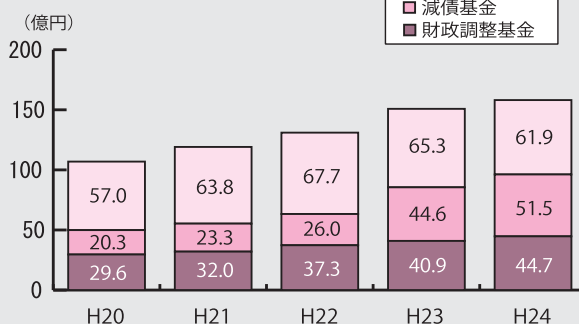
積み立ては約7億円の増額

一方、市の貯金は基金として運用・管理されています。財源補てんのための財政調整基金や、借金返済額の増加に備える減債基金をはじめ、特定の目的のために積み立て・運用をする各種の基金があります。平成24年度は、将来の財源の減少に備え、人件費等の歳出削減を行った経費の一部を積み立てたことにより、約7億円の増額となっています。

■基金の状況

基金名	H23 年度末残高	H24 年度末残高
財政調整基金	40億8,974万円	44億7,335万円
減債基金	44億6,221万円	51億4,476万円
その他の基金	65億3,046万円	61億9,018万円
合 計	150億8,241万円	158億8,299万円

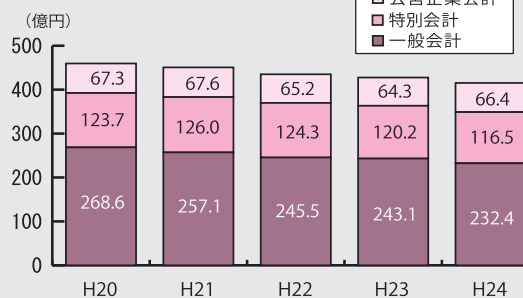
■基金残高の推移



■市債の状況

事業名	H23 年度末残高	H24 年度末残高
一般会計	243億515万円	232億3,891万円
特別会計	120億2,444万円	116億5,167万円
下水道事業	76億8,403万円	74億8,882万円
農業集落排水事業	27億6,535万円	26億6,400万円
戸別合併処理浄化槽設置整備事業	4億3,999万円	4億5,447万円
簡易水道事業	11億3,507万円	10億4,438万円
公営企業会計	64億3,119万円	66億4,233万円
水道事業	62億5,344万円	65億817万円
工業用水道事業	1億7,775万円	1億3,416万円
合 計	427億6,078万円	415億3,291万円

■市債残高の推移



▶▶▶ 市民提案型まちづくり事業 ◀◀◀

阿弥陀堂整備で地域づくり

【あおぞら大里会】

代表 飯嶋浩さん（大里町）

子どもたちが遊べる場所を作っていくとともに、昔行われていた「生姜市」や「夜祭」の復活、昔話の伝承を行っていく予定です。

花でおもてなし

【チエルシー・amis】

代表 井坂美代子さん（春友町）

J R 常陸太田駅前
のロータリーに鉢植えを並べて、通勤・通学で駅を利用する方の目を楽しませるとともに、駅を利用して訪れる観光客を花で迎える活動を行っています。

11月には、J R 常陸太田駅前ロータリーの寄せ植え



とプランターの植え替えを行いました。また、現在には常陸太田駅のコミュニティスペースにクリスマスリースを展示し、駅利用者の目を楽しませています。

夜にはライトアップされ、クリスマスマスの雰囲気をもたせています。



人と人のつながりを大切に

【たんたん】

代表 小川光子さん（瑞龍町）

地域福祉の向上を目指し、誰もが自由に集える場として、金井町の空き家を利用し「集いの場たんたん」をオープンしました。6月のオープン以降、フリースペースでお茶を飲む方など、少しずつ訪れる方が増えています。先月行われた「常陸太田秋まつり」では、軒先でお子さん向けの輪投げや模擬店を行い、大勢の人でにぎわいました。

8月にはNPOの認証も受け、放課後デイサービスの事業にも取り組んでいます。



景観整備で地域の絆を

【常陸太田大中町会】

代表 才丸一美さん（大中町）

昨年から根岸のため池周辺の環境整備を行っています。今年も6月にため池周辺の休耕田を整備し、アヤメ100本の植栽を行いました。7月には、ため池の清掃やスイレンの手入れを行い、参加者や地元住民でバーベキュー



や夏祭りを開催。フラダンス鑑賞などをして大変盛り上がりました。今後とも地域の憩いの場である根岸のため池の環境整備や、ため池にまつわる各種イベントをとおして、地域の絆を強めていきます。



**資源物の分別、ごみの減量化へのご協力
ありがとうございます**

平成 24 年 8 月から始まった資源物の新分別収集。市民の皆さんのご協力により、以前は「ごみ」として出されていたものが、「資源物」として収集され、貴重な資源に生まれ変わっています。

開始から 1 年の状況は下記のとおりです。

■資源物の売払量が増えました

清掃センターに集められた資源物を業者に売った量は、分別開始前の 1 年間と比べて **119 トン増加**（主に新聞・雑誌類が増加）。※分別開始前 1,088 トン⇒開始後 1,207 トン（約 10.9% 増）

■資源物の処分費が減少しました

清掃センターが、最終処分場や専門業者に処理を委託する費用は、分別開始前の 1 年間と比べて **2,421 千円減少**（主にガラス類が減少）。※分別開始前 8,859 千円⇒開始後 6,438 千円（約 27.3% 減）

問 清掃センター（☎ 72 - 3316）



青少年健全育成常陸太田市民の会

問 生涯学習課（☎ 72 - 8888）

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

【なるほど固定資産税 第 2 回】

固定資産税がかかる土地は、どんな種類があるの？

固定資産税がかかる土地には、宅地や田、畑といった種類（「地目」といいます）があり、本市の面積 372.01k m² のうち、各地目の面積と割合は、下記のような状況になっています。（平成 25 年 1 月 1 日現在）

《宅地》

建物が建っている敷地、または建物が建てられる状況にある土地
16.53 km²（4.44%）



《田》

農耕地で用水を利用して、水稻などを栽培する土地
35.19 km²（9.46%）



《畑》

耕作地で用水を利用しないで耕作する土地
25.41 km²（6.83%）



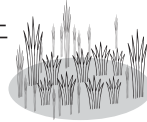
《山林》

竹木の生育する土地で、肥料などの管理が行われていない土地
191.09 km²（51.37%）



《原野》

かん木類が自生する土地
8.79 km²（2.36%）



《牧場》

牛・馬などの家畜を放牧する土地
2.26 km²（0.61%）



《池沼》

自然または人口の池や沼
0.40 km²（0.11%）



《その他》

公衆用道路や公園、墓地、境内地、鉱泉地などの土地
75.15 km²（20.20%）



《雑種地》

上記のいずれにも該当しない土地
17.19 km²（4.62%）

※所有者が国や県、市の土地や、墓地、境内地などは非課税です。

問 税務課資産税係（内線 207・208・219）

【男子】〈Aクラス〉 ①加藤 木貴之・清水桂太（K K S 85）〈Bクラス〉 ①菊池紀裕・藤田知也（K K S 85）〈Cクラス〉 ①安俊郎・澤幡倫男（やまぶき）【女子】〈Bクラス〉 ①橋本しのぶ・神永春美（オリヴ）②治田雅子・石川宏子（さつき）③山田恵子・三上裕美（やまぶき・オリヴ）〈Cクラス〉 ①菅谷優子・保科弥夜江（オリヴ）②岡崎香織・松浦絵美③根本礼子・澤幡みどり（やまぶき）

第 28 回市長杯女子バレーボール大会「10 月 20 日」山吹運動公園市民体育館
市民バドミントン大会「10 月 6 日」山吹運動公園市民体育館

スポーツフラッシュ
（敬称略・丸数字は順位）

◇ 善意ありがとうございます ◇
（株）小池住建様 市政のため 10 万 1800 円 / 世矢歴史愛好会様 社会福祉事業のため 50000 円



地産旬食・旬菜旬食講演会

里美中文化祭で域学連携

10月26日、地域と大学が連携し地域の活性化を図る、「域学連携地域づくり」事業の一環で、「チームさとみあい」に所属する大学生たちが、里美中の文化祭で里美の持つ食の豊かさや魅力を認識してもらおうと中学生たちと議論しました。また、地域おこし協力隊の長島由佳さんが「地産旬食」「旬菜旬食」をテーマに里美の食生活の魅力を講演しました。



大学生と中学生が活発に議論

親子で仮装を楽しむ

はぐみの鯨ヶ丘ハロウィンスタンプラリー

10月30日、子育てを応援するグループ「はぐみの」（榎村自子代表）の主催で、鯨ヶ丘ハロウィンスタンプラリーが行われました。親子でハロウィンの仮装をして鯨ヶ丘を散策。協力店9店舗を巡りお菓子などをもらいながら1日を楽しみました。かわいい仮装の様子はNHKニュースワイド茨城でも放送されました。



さあ次のお店へ出発！

文化財を守り歴史を学ぶ

南中生がボランティア清掃

11月11日、南中の生徒が来迎院阿弥陀堂（大里町）の清掃を行いました。南中では毎年希望者を募り清掃活動を実施していて、今年は45人が参加しました。あいにくの雨のため本堂のみの清掃でしたが、心を込めてぞうきんがけなどを行い、地域の宝をきれいにしました。その後、地域の方から県指定文化財である阿弥陀堂の興味深いお話を聞くことができました。



阿弥陀堂本堂を掃き清める中学生

おこめフェスで舌鼓

第2回常陸太田ファーム&キッチン

市の特産物を使って料理を創作し提供する、第2回常陸太田ファーム&キッチン「おこめフェス」が、11月1日～17日、市内の飲食店（参加店14店）で行われました。今回の食材は常陸太田の清流が育むおいしい「お米」。もともとおいしいお米に各店のシェフとパティシエの手間が加わってさらにおいしくなりました。お米提供農家の方たちも試食中「うまい」と絶賛！今後の展開が楽しみです。



各店の力作がそろった

健康・友愛・奉仕の決意新たに

市老人福祉大会

11月8日、パルティホールで市老人福祉大会が開催されました。当日は市内の老人クラブ会員約750人が参加。永年にわたり老人クラブの発展に尽力された会員への表彰状・感謝状の贈呈を行った後、「健康・友愛・奉仕の精神で、市民協働のまちづくりの一翼を担う」と力強く大会宣言を採択しました。



老人クラブ会員による芸能発表



保育園児の発表には盛んな拍手が送られた

園児たちが楽しく火災予防をPR

秋の全国火災予防運動

11月12日、秋の全国火災予防運動が行われ、マックスバリュ常陸太田店前で太田進徳幼稚園児が鼓笛演奏やダンスを披露。幼年消防クラブ員でもある園児たちは、笑顔で火災予防をアピールしていました。



鼓笛演奏で火の用心をPR



バルーンで花火を打ち上げ

地 島町球技大会 元の絆を深める

11月10日、第39回目となる**島町球技大会**が行われました。長年続くこのイベント、最近では球技ではなくビンゴやパン食い競争などのレクリエーションや防災訓練を行い、町内の親交を深めています。



防災訓練も重要です



ビンゴで盛り上がる子どもたち

多 亀作町文化展 彩な作品が勢ぞろい

10月26日・27日、亀作農村集落センターで**第9回亀作町文化展**が行われました。この文化展は2年に一度開催され、地域の方の作品250点余りを展示。陶芸・絵画・写真・木工などどれも力作ぞろいでバラエティ豊富。鉱物などの展示もあり、一つの町内の文化展でこれだけ多彩な作品がそろっているのは珍しいことです。



見事な手工芸品に見入る

防 全国地域安全運動キャンペーン 犯意識の向上を呼びかけ

「みんなでつくろう 安心の街」をスローガンに、**犯罪のない安全で安心な地域社会をつくるためのキャンペーン**が、10月11日、マックスバリュ常陸太田店前で行われました。空き巣や車上狙いなどの犯罪が依然として多い中、地域の防犯活動に取り組んでいる自警団等の防犯ボランティア約50人が、地域の絆づくりと防犯意識の向上を呼びかけました。



㊦はすみ保育園児のアトラクション
㊦時空戦士イバライガー（初代）も登場

紅 モーターパラグライダー竜神峡を飛ぶ 葉まつりを盛り上げる

11月23日、西染町の田んぼに県内外から**モーターパラグライダー**の愛好家が集結、竜神峡上空を飛行し、開催中の紅葉まつりを盛り上げました。これは、地元を中心に活動しているパラグライダーチーム「PPG 久慈クラブ」の声掛けにより行われたもので、折しも当日は紅葉の盛りで竜神峡へ向かう道は大混雑。空からゆったりと眺める山々はさぞきれいだったことでしょう。



風を受けて大空へテイクオフ

地 下内田町ふれあい文化祭 元で楽しいふれあい

10月26日・27日、下内田農村集落センターで、**下内田町ふれあい文化祭**が行われました。青少年の健全育成と明るい町内をつくることを目的に毎年開催されているもので、書道や絵画などの児童作品や一般作品展示のほか、茶道教室や豚汁コーナーなど催しも多彩。子どもから大人まで多くの住民がふれあいを楽しみました。



バンド演奏も楽しんだ

親 県高圧ガス保安協会太田支部親子料理教室 子でクッキング

9月30日、^{なかとしかず}中利員農村集落センターで、**親子ふれあい料理教室**（県高圧ガス保安協会太田支部主催）が行われました。参加した16組の親子は、同協会から寄贈された最新のガスコンロを使用して、カボチャのサラダや鶏と野菜の炒め物に挑戦。栄養士さんの指導を受けながら楽しく料理しました。



機初公民館青色パトロール隊

[illegible]

水府きらめきフェスティバル

ズラりとそろった作品

小中学校生徒作品展

西山研修所「西山秋まつり」

The collage consists of four photographs. The top-left photo shows a marching band in white uniforms with large brass instruments. The top-right photo shows three students in red shirts, one with 'STAFF' on the back. The bottom-left photo shows students at a table with various items. The bottom-right photo shows a student in a red shirt with 'STAFF' on the back.

[illegible]

第7回市太鼓連盟演奏会

親 和久町収穫感謝祭にぎやかに 子餅つき大会と新蕎麦まつり

11月23日、和久農村集落センターで第5回和久町収穫感謝祭が行われました。お年寄りから子どもたちまで地域の方100人以上が集まり、餅つきや茶道、新蕎麦の食味会などを楽しみました。お腹いっぱいになると地元のバンド演奏やカラオケで盛り上がり、アツという間に1日が終わりました。



親子餅つき大会。力を
込めて杵を使う



茶道体験でお点前

い 「里美御膳」を古民家荒蒔邸で食す い あんばいのお母さんの味

11月21日～23日、古民家荒蒔邸（大中町）で、里美地区の女性たちと地域おこし協力隊里美支部が、里美地区で代々受け継がれてきた家庭料理を、「里美御膳」として3日間限定で提供しました。地域おこし協力隊は、里美地区の食文化について、地域のお母さんたちから聞き取りながら掘り起こしを進め、それをまとめてレシピ集も作っています。また、23日には里美の水プロジェクトとのコラボ企画「晩秋の里美・鍋足山ハイキング」も行われました。



旬の食材を使った里美御膳



手打ちそばも召し上がれ

広告主募集

『広報ひたちおおた』に広告を掲載しませんか？市内各世帯に毎月配布され、宣伝効果が期待できます。ぜひご利用ください。

■ 広告料（1回当たり）

- ①縦4.5cm×横8.8cm 1万円
- ②縦4.5cm×横17.9cm 2万円

■ 問い合わせ

情報政策課広報広聴係（内線303・304）
<http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>

つ わいわい親子フェスティバル なごうオレンジの絆

11月24日、パルティホールにおいて、第3回わいわい親子フェスティバルが開催されました。オープニングでは、子ども虐待防止の願いを込めて、会場にいる子どもたちがオレンジ風船を飛ばしました。会場では太田進徳幼稚園児による太鼓の演奏や赤ちゃんハイハイ大会などが行われ、また、プロサッカーチーム「水戸ホーリーホック」のキャラクターも駆けつけてくれて、大いに盛り上がりしました。



④赤ちゃんハイハイ大会
⑤エアゴール大会



300個の風船をリリース

ジ 真弓山ジオハイキング オと紅葉の景観を楽しむ

11月17日、県北ジオパーク・ジオネット常陸太田主催による真弓山ジオハイキングが行われました。当日は秋晴れに恵まれ絶好のハイキング日和。参加した約50人は、真弓山の雄大で美しい景色を眺めながら、寒水石の採石現場に沿ったハイキングコース6kmを散策しました。ハイキングではガイドが同行し、真弓山の地質や伝説、植物などを楽しく説明していました。



④寒水石の説明を聞く
⑤関東平野を見渡す



源義家が魔よけの矢を放ったといわれるひざ掛け石

小妻町ハイキングコース

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。



常陸太田市文化課エコミュージアム推進室（内線 541）

距離：約10km 所要時間：3時間

今回は小妻町を歩いてきました。小妻コミュニティセンターに車を止めて笠石集落を目指します。途中ハイキングコースとして整備されている薄葉沢を通り滝や紅葉などを楽しめます。

目指す笠石集落にある“笠石”には古くからの伝説があり、平家に追われてここまで落ちのびた鎮西八郎為朝が鎧甲冑太刀をこの中に収めてふたをしたものであるといわれています。

また、近くの妙見山からは非常に珍しい鉱物のリチウム・ペグマタイトが採れるそうです。この地区には美しい自然や歴史的伝説などが多くあります。

妙見山

集落のはずれにあり岩質は花こう岩。大きな石の上に笠の形をした石が載っていて、地名の由来にもなっている

5 笠石



来たルート
を戻る
集会所WC

4 おしゃべり地蔵



おしゃべり地蔵という珍しい呼び名で親しまれているお地蔵様。元は二体で川向こうに祭られていたが、おしゃべりがうるさいため現在の場所に移された。今は何のお話をしているのだろう

4 おしゃべり地蔵

3 薄葉沢の滝群

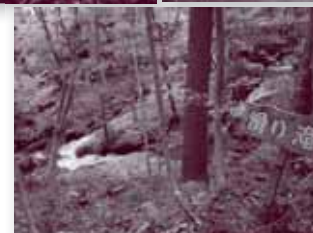


3 薄葉沢の滝群

2 道標



薄葉沢入口手前に残るこの道標は1867年造立。正面に「馬頭観世音」、「右ふじ山道」、「左上君田大津平瀧道」とあり、往時を今に伝えている



水量が多く、豪快な水の流れの13の多彩な滝がある。秋には紅葉を楽しむことができる



スタート・ゴール
小妻コミュニティセンター

1 小里城址



築城者は明らかでないが、戦国時代後期のもので白土氏の居城と伝えられる。里川と薄葉川の浸食を利用して造られた土塁が今でも見てとれる

1 小里城址

2 道標

小里小学校

児童数91人

140年目の「おらが学校」

「夢と笑顔の実現に向かって、心豊かで根気強く取り組む児童の育成」を目標に、全校児童91人の個性を大切にしながら、可能性を伸ばす取り組みを行っています。また、来春の閉校を前に、地域に根ざした「おらが学校」の推進のため、特色あふれる創立140周年目の教育活動を展開中です。



地域との協力による運動会

みんなでつくる集会活動

児童一人ひとりが主役となり、助け合いながら、さまざまな集会活動を実施しています。学習成果を発表する元気っ子集会や読書集会、生活や健康を見直す保健集会や給食集会を開き、みんなで学ぶ体験や喜びを大切にしています。



元気っ子集会

地域の良さを学ぶ体験学習

地域の方々の協力を得て、学区内探検・里川カボチャ栽培・里川源流探索など、多様な体験活動に取り組みんでいます。また、11月の学校公開日には、「ふれあおう」「つたえあおう」をテーマに、地域の方々との交流や活動の報告を行い、地域の良さを再確認しました。



学区内のかかし祭り探検



地域の方々との交流



里川源流の探索



里川カボチャの収穫

閉校そして開校に向けて

保護者やPTA、地域の方々に支えられ、思い出に残る充実した教育活動を進めています。地域への感謝と母校への愛情や誇りを胸に、これからも魅力ある学校づくりを目指します。

部活がんばってます

世矢中 女子ソフトテニス部



目指すは県大会

北中 男子ソフトテニス部



県大会出場が目標

「1年生2人、2年生7人の計9人で毎日楽しく練習をしています。練習では、得点率が高いサーブ・レシーブを中心に、一日一日を大切にして良い結果を残せるように頑張っています」と話してくれたのは、主将の高橋清夏さん。顧問の詩原優子先生は、「一人ひとりが声を出して、あいさつや礼儀の大切さ、最後まであきらめない心を身につけるように指導をしています」と語っていました。

部員は2年生4人、1年生2人の少数精鋭。秋の新人戦では個人（ペア）で県大会、団体で県北大大会出場と実力派がそろっています。チームを引っ張る出町鷹瑛主将は、「練習では声を出して、お互いにアドバイスをしながら高めあっています」と話してくれました。顧問の椿明浩先生は、「ペア同士、そしてチームとしての連携が重要。どんな状況でもあきらめず、根気強く頑張ることを身につけてほしい」と語っていました。

おめでとう！ はじめての誕生日

元気に
すくすく

12月で1歳です！



みつき
助川美月ちゃん
12月6日(磯部町)



ゆの
大曾根結乃ちゃん
12月9日(島町)



かなた
三枝奏太くん
12月11日(西三町)



おん
後藤しおんちゃん
12月12日(大里町)



ひかる
川上洸くん
12月13日(天神林町)



あきと
豊田彪斗くん
12月14日(山下町)



くるみ
會澤来桃ちゃん
12月17日(幡町)



はるま
鈴木啓真くん
12月19日(磯部町)



りく
小幡るいくん
12月26日(大里町)



ひなた
植田陽向ちゃん
12月27日(磯部町)

お子さんの満1歳の記念に写真を掲載してみませんか。掲載希望の方は、任意の用紙に必要事項を記入し、写真を添えてお申し込みください。

◇対象 市内に住所を有する平成25年2月生まれのお子さん(平成26年2月号掲載分)

◇応募締切 平成26年1月8日(日)

◇必要事項 お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所、応募者(保護者)の氏名・電話番号

◇その他 メールの場合は写真データを添付してください(JPEG形式で3MB以内)。応募された写真は返却しませんのでご了承ください。

申込 情報政策課広報広聴係(〒313-8611 常陸太田市金井町3690/メールアドレス joho2@city.hitachiota.lg.jp/内線303・304)

園児たちのギャラリ

今月は「愛保育園」で〜す(^0^)/

年長さん(ぞう組)



メリークリスマス！

みんなで育てたサツマイモのつたでリースを作ったよ。真ん中には折り紙で作ったサンタクロースがニッコリ！どんなプレゼントを届けてくれるかな？



表紙に
よせて

11月9日、東連地町の青蓮寺で、講談師の一龍 斎貞弥さんが、新作講談「二孝女物語」を奉納しました。二孝女の故郷・大分県臼杵市野津出身の貞弥さん。心温まる親孝行の史実を講談としてよみがえらせ、その美しい声に乗せて披露しました。

発行 常陸太田市/編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690 ☎72-3111 (内線303・304) Fax72-3002

*広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>